

## 地域公共交通の現状課題・分科会報告について

5/13(水)に地域公共交通計画推進分科会を開催し、主に交通事業者から地域公共交通の現状と課題について報告するとともに、報告のあった課題に対応する今後の事業計画の方向性について、分科会において協議・検討を行った。

### (1) 現状と課題について

#### 【バス】

- ・無料デーなどの企画も影響し、利用者数は回復傾向
- ・イオン坂出店の休業に伴い、循環バス西ルートのスーパーセンター宇多津店バス停の利用が約2倍に増えている。
- ・会社全体の乗務員数がコロナ前80名だったのに対して、67名まで減少している。
- ・バス乗務員不足は全国的課題となっており、採用も厳しい。乗務員不足を解消しないと利用促進にも十分に取り組めない。
- ・乗務員不足に加えて、2024年問題もあり、乗務員の労働時間に制限がある。現在の運行便数を維持していくことが厳しい状況。
- ・全国的に乗務員不足によるバス減便が発生しており、琴参バスが運行する中讃エリアにおいても現状の便数を維持することは困難な状況。単純に減便というのではなく、地域の課題に沿った形で、利用者に影響の少ないような減便を考えていきたい。

#### 【デマンドタクシー】

- ・昨年10月からの病院・スーパーでの乗降が利用者から好評。
- ・特に、イオン坂出店の休業後はマルナカ坂出店の利用が増えている。新設のMIRAI病院への利用も多く、全体利用者が増えている。(府中・西庄)
- ・追加運賃200円で自宅付近での降車という利用はあまり多くはない。
- ・TicketQR決済は、市民割100円引きもありデマンドで多く利用されている。利用者間の口コミで利用が広がっている印象。
- ・利用者からは設定便の増設や土日運行の要望などがある。
- ・全体利用者数は増えていないが、スーパーや病院で乗降可能になったことは利用者から好評である。(川津)

#### 【乗用タクシー】

- ・乗用タクシーでイオン坂出店までという利用も多かったが、休業によってマルヨシセンターやコープ、ラムーへの利用が増えている。イオン坂出店は、高齢者にとって単純に買い物というだけでなく、お出かけして滞在する場所としても利用されていたのだと思われる。

- ・タクシー乗務員不足について、坂出ではそこまで深刻化はしていないが、将来的に起こり得ることで対策が必要。他地域では経営者や乗務員の高齢化でタクシー事業者が廃業し、タクシー利用ニーズがあっても配車に対応できていない状況も生じている。
- ・若い乗務員の採用もできてきている。

#### 【鉄道】

- ・アフターコロナで利用者数は回復傾向にあるが、コロナ前の水準には戻っていない。
- ・乗務員不足は深刻化しつつある。

#### 【地域】

- ・休業中のイオン坂出店は、暑さ寒さをしのげるバス待ち環境としても使われていたと想定され、これからの暑い時期にバスの利用環境が悪化してしまう懸念がある。

#### 【TicketQR】

- ・利用者数・利用率が徐々に増加している。
- ・4月から高齢者運転免許証自主返納者支援としてのプリペイドチケットを配布

### (2) 事業計画の方向性について

#### 【バス】

- ・乗務員不足の深刻化や2024年問題により、早朝や夜の便を中心とした減便や、利用の少ない区間の廃止が必要。
- ・その中で、デマンドタクシーとの連携・共創も必要。

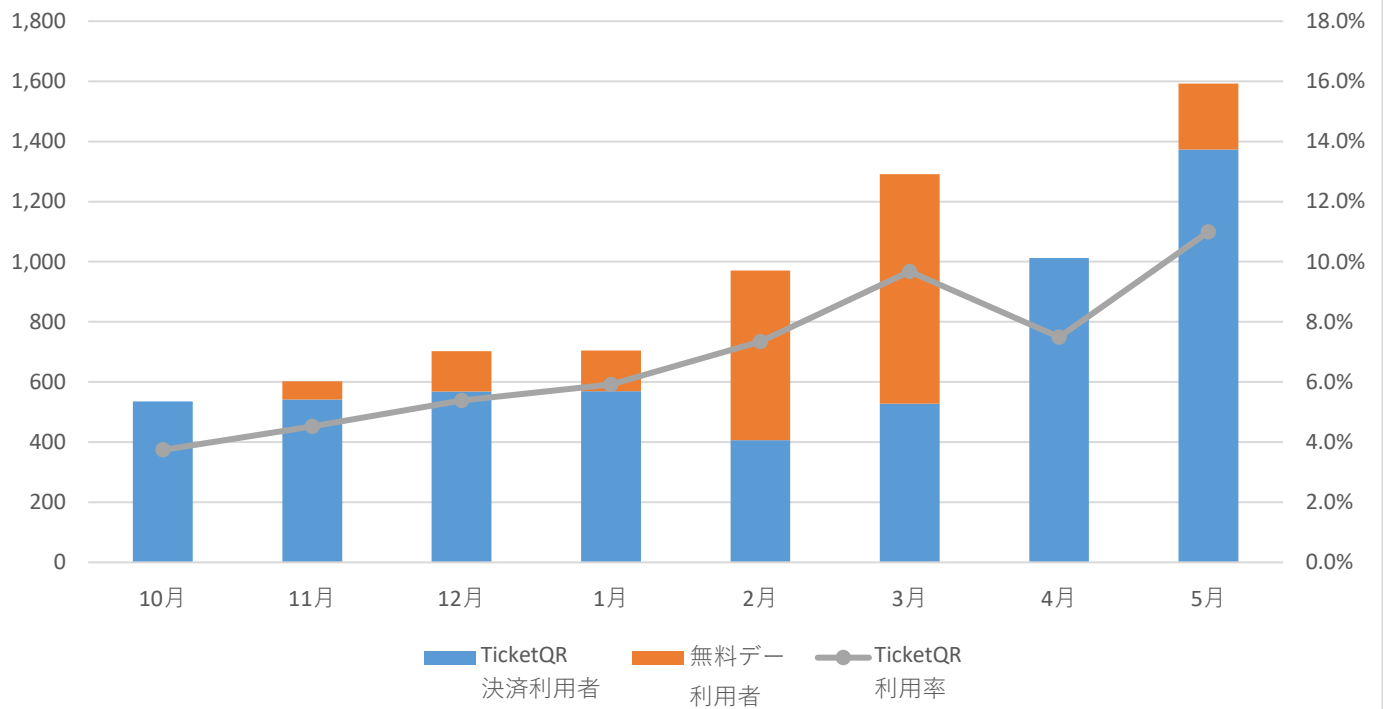
#### 【デマンドタクシー】

- ・バスの減便や区間廃止に対して、デマンドタクシーの運行で補完することが可能。
- ・デマンドタクシーは予約がなければ運行しないため、費用が発生しないことから、運行時間を工夫して設定便を増やしたり、休日の運行を行ってもよいのではないか。
- ・そもそも運行地域内でも認知度が低いため、利便性向上と合わせてPRを行っていく必要がある。
- ・既存のデマンドタクシー3地区について、前回の事業者選定から3年が経過し、再選定の時期となっている。

#### 【モビリティマネジメント関係】

- ・引き続き、利便増進事業のPRや各種利用促進に取り組む必要がある。

バスTicketQR利用推移



デマンドTicketQR利用推移

